

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.825
2019.1.27

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

発行

山崎 あきら
神田よしゆき
戸島 よし子
とりうみ敏行

久保 みき
もりや千津子
松村 としお
大木 学

市営住宅

建て替え後の再入居 住民の希望を聞いて

さいたま市の市営住宅は 1955 年から 1965 年にかけて建設された住宅が多く、市は耐用年数の 2 分の 1 にあたる時期に、建て替えか修繕等で長寿命化するかを検討・計画する「市営住宅等長寿命化計画」を 2011 年 3 月に策定しました。この計画で西区の峰岸住宅、馬宮住宅、緑区の道祖土戸崎住宅、岩槻区の浮谷住宅の建て替えが決まりました。

市営住宅の応募倍率は、計画当初は約 26 倍、この 3 年では約 13 倍です。政令市のなかでさいたま市の人口あたりの戸数は最下位です。それにもかかわらず、計画では建て替えにおいて 5 戸しか増やしていません。

2015 年に峰岸住宅の建て替えがはじまり、建て替えの間の 2 年間、峰岸住宅の住民は岩槻区の浮谷住宅に仮住まいをしました。2 年後に新しい峰岸住宅に戻る際、市は「ご意見・ご要望」の欄があるアンケートを



建て替えた西区の峰岸住宅

実施しました。しかし、1 階の希望のみ考慮し、あとは一切考慮されず、抽選で部屋割りを決めました。党市議団には「なんで希望を聞き入れてもらえないのか」と相談が何件も寄せられました。

2018 年から道祖土戸崎住宅の建て替えがはじまり、昨年の 12 月議会に関連の補正予算が出されました。その際、「他市の市営住宅の建て替えにおける希望の聞き入れ状況」を党市議団の要求で提出させました。資料ではほとんどの政令市で階数などの希望を聞き入れていることがわかりました。

久保みき市議は予算委員会で「峰岸住宅の

老障介護は深刻 グループホームの増設を

1 月 18 日、「さいたま市障害者施設連絡会」の主催で「障害者グループホームへの市単補助を求めるつどい」が開催され、党市議団から久保みき市議が参加しました。

障害者家族の老障介護^(※)の問題は深刻で、党市議団にも 80 代の親が 60 代の障害のある子の介助をしているなど、当事者家族から切実な相談が寄せられています。親から自立し生活する障害者のグループホームの増設が喫緊の課題です。しかし、国の報酬単価も低いため障害者グループホームの運営は厳しく、設置においても消防法や建築基準法等の課題が

あり、事業者がグループホームを設置するのは非常に困難です。そのため多くの市では市独自で補助メニューを設け、事業者を応援しています。しかし、さいたま市には市の単独補助がありません。

つどいでは、他政令市に比べさいたま市のグループホームの数（定員数）は 461 人と非常に少ないことが浮き彫りになりました。また、他政令市のきめ細やかな独自補助の内容の報告があり、参加した保護者からは切実な声が上がりました。市の担当課からは、「(独自補助実現にむけて)課として予算要望をあげた」と発言がありました。

※高齢の親が障害のある子どもの介護をつづけること

障害者グループホームにおける政令市の関係情報

(つどい当日の資料から)

	さいたま市	川崎市	千葉市
人口	約 130 万人	約 152 万人	約 98 万人
市財政の総予算	9938 億円	約 1 兆 4456 億円	約 8902 億円
市単独運営補助の予算	0 円	約 10 億 131 万円	約 8023 万円
グループホーム総員数	461 人	1235 人	581 人
定員 1 人当たりの人口	2824 人	1229 人	1683 人
入居者 1 人に対しての 予算割り当て	0 円	81 万 777 円	13 万 8088 円

建て替えの際、住民の要望を聞いておきながら抽選となったことで混乱が起きた。希望を聞き入れるべきだ」と求め、市は検討すると

答弁しました。今後の建て替えにおいて住民の希望がとり入れられるようひきつづき求めていきます。

緑区 見沼ドッグランが改修へ

新見沼大橋下の見沼ドッグラン（緑区）が2016年に開設され、歓迎されています。住民のみなさんが署名運動にとりくみ、党市議団が議会に取り上げるなかで実現したものです。駐車場もあることから、市外の方も含めて利用されています。

ところが、開設から間もなくして表面の土



が削れてくるとガラスや陶器の破片、石のかたまりなどが出てくるようになり、犬のケガも起きるようになりました。見沼ドッグラン

サポーターズクラブと都市公園課との意見交換会が定期的に開かれていますが、そのなかでも改修の要望が出されました。また同席した松村としお市議は2017年9月議会の決算委員会で改修を求めました。

こうしたとりくみを通じて2018年度に改修計画が進められ、1月から6月末まで改修および芝生養生等の工事がおこなわれることになりました。小型犬エリアでは柵と地

面のすき間から犬が逃げ出した例もあり、その対策も含まれています。

改修中は見沼ドッグランの利用はできませんが、大間木ドッグランが引き続き利用できます。



動物を守るため 実効性ある動物愛護法に

昨年12月11日、衆議院会館で「動物虐待厳罰化・アニマルポリスの設立を目指す勉強会」が日本動物虐待防止協会の主催で開催され、久保みき市議が参加しました。

2017年12月、猫への残虐な行為をおこなった元税理士（さいたま市見沼区）に対して執行猶予付きの判決が出されました。その日から1年後に開かれた同勉強会では、さまざまな活動をしている動物愛護家、獣医師、ドッグトレーナーなどから発言、報告がありました。

勉強会では、動物虐待を専門的に取り締まる「アニマルポリス」の設置が提起



されました。ペット先進国のアメリカ・イギリス・オランダが有名ですが、動物虐待や飼育放棄などの通報を受けて現場に出向き、飼い主を注意・教育し、被害にあった動物を保護する機関です。

今年は動物愛護法が改正される見込みですが、先送りする動きもみられます。虐待の厳罰化、劣悪なペット生産工場への規制など、実効性のある法改正を求めます。

浦和区 T字路のカーブミラー設置が実現

浦和区仲町の裏門通り商店街につながるT字路は見通しが悪く、下り坂ということもあり危険です。ご近所のみなさんが、カーブミラー設置を求めて近隣の店舗などをまわり80人から署名を集めました。

昨年10月26日、とりうみ敏行市議は紹介議員として市への要請行動に参加しました。市の担当者は「カーブミラーを設置する方向で検討する」と現地調査を約束し、12月下旬にはカーブミラーの設置が実現しました。



設置されたカーブミラー



要請行動に参加するとりうみ市議（左から2人目）

あなたの身近な議員です



市議(中央区) 市議(北区) 市議(見沼区) 市議(浦和区) 市議(桜区) 市議(南区) 市議(緑区) 市議(岩槻区)

山崎あきら 神田よしゆき 戸島よし子 とりうみ敏行 久保 みき もりや千津子 松村としお 大木 学